

平成22年7月28日

## 国立大学法人電気通信大学と独立行政法人電子航法研究所との 連携に関する協定の調印について

国立大学法人 電気通信大学  
独立行政法人 電子航法研究所

国立大学法人電気通信大学（学長：梶谷 誠（かじたに まこと））と独立行政法人電子航法研究所（理事長：平澤 愛祥（ひらさわ ちかよし））は、研究・教育交流に関する連携協定を締結することになり、7月28日（水）11時00分から電気通信大学において調印式が行われる。

両機関は、電波・通信・情報技術分野の研究で共通するところが多く、本部は調布市内にあり地理的にも比較的近隣に立地している。

電気通信大学では創立100周年を目指して策定した「UECビジョン2018」に「多様な連携と協働により、教育研究の質を高め、社会に貢献する。」と謳っている。

また、電子航法研究所では来年度から始まる第3期中期計画期間において、国内外特にアジア地域の研究機関との連携に力を入れる予定にしており、また、平成22年3月に策定した「人材活用等に関する方針」の中で航空交通分野の研究機関・人材の必要性を謳っている。

このような考えの中、両機関の目指す方向が一致したことにより、協定締結に至ったものである。

なお、本協定が対象としている連携の内容は、次のとおりである。

1. 共同研究
2. 研究・教育における協力活動（研究指導、インターンシップを含む）
3. 教員、研究者及び大学院生の交流
4. その他の学術的交流

今回の連携協定締結によって、

電気通信大学では、研究においては電波・通信・情報技術分野での電子航法研究所における先端機器を借用しての研究開発や共同研究等の発展を期待するとともに、教育においては学生のインターンシップの更なる推進などを予定しており、将来的には、同研究所による連携講座の開講も期待している。

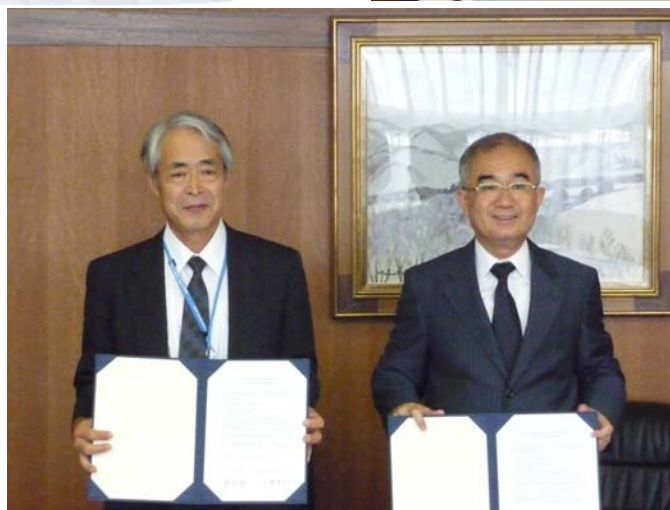
電子航法研究所では、電気通信大学の幅広い学術分野を持った有能な人材との協力による新たな研究の進展や、研究所研究者のリカレント教育の場、航空交通分野に精通した若い人材の育成などが発展することを期待している。

# Press Release

<参考>

電気通信大学：調布市に立地し、情報・通信・電子・メカトロニクス・基礎科学の分野を包含する、実践的で特色ある大学として教育・研究を推進し、理工系高度技術者を輩出し、社会的に高い評価を受けてきている。

電子航法研究所：電子航法（電子技術を利用した航法をいう。）に関する試験、調査、研究及び開発等を行うことにより、交通の安全の確保とその円滑化を図ることを目的に設立され、航空交通管理システムに関する研究等を通じて、航空行政等を技術的側面から支援する中核的研究機関。



【調印式での様子（右：梶谷学長、左：平澤）】

<連絡・お問い合わせ先>

電気通信大学研究協力課 ☎042-443-5069

(担当：課長 長沢 定義)

電子航法研究所企画課 ☎0422-41-3162

(担当：課長 齋藤 賢一)

